

● HOST TOWN をきっかけに生まれたつながり —— 宮城県加美町生涯学習課スポーツ推進係

はじめに～チリと加美町の関係～

加美町は宮城県の北西部に位置し、「加美富士」とも呼ばれる「葉菜山」をはじめとする美しく雄大な自然に囲まれています。チリは東にアンデス山脈、南に氷河、北は砂漠地帯などの壮大な自然が広がり、サーモンや上質なワインさらには銅の産出などが有名な国です。

加美町は東日本大震災での南三陸町との交流をきっかけにチリとつながり、2019年2月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「復興ありがとうホストタウン」に登録され、チリパラリンピック選手団の合宿地となりました。その後、チリパラリンピック委員会との連絡調整を円滑に進めるために、加美町では初めてとなる国際交流員（CIR）を任用することとしました。そして、チリ共和国サンティアゴ出身のカタリーナ・サラビアさんが2019年8月にやってきました。

チリパラリンピック選手団の合宿

①事前合宿

カタリーナさんは着任して間もなく、8月下旬から14日間行われた、チリパラリンピックカヌー選手団3人の事前合宿で見事な活躍ぶりを見せてくれました。選手団が過ごした2週間、カタリーナさんは選手団と毎日過ごし、一人一人に丁寧に寄り添う他、交流会やマス



事前合宿での通訳業務（右2人目がCIR）

コミの取材などの通訳を担当しました。

②東京2020パラリンピック競技大会直前合宿

～コロナ過での合宿～

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で合宿を取りやめた自治体が多い中、加美町はチリパラリンピックカヌー・パラリンピック陸上選手団の合宿を無事に行うことができました。合宿中の移動や交流などが制限されましたが、カタリーナさんは選手団が加美町に入る直前まで、チリパラリンピック委員会と頻りに連絡を取り合い、おかげで選手団は安心して加美町で3週間ほどの合宿を行うことができました。合宿中もカタリーナさんが親身にサポートすることで、選手団はしっかりと練習に集中でき、本大会では世界記録での金メダル獲得など素晴らしい結果を残しました。選手団の皆さんからは加美町を「第二の故郷と思うようになった」との言葉もいただきました。



直前合宿での通訳業務（右1人目がCIR）

国際交流の活動～チリを身近に～

チリは南米大陸の西側に位置し、日本から約1万7,000kmも離れています。そのため、日本人にとってチリは遠い存在です。加美町は「復興ありがとうホストタウン」に登録されて以来、チリパラリンピック選手団の受け入れの他にも、カタリーナさんを活用し、チリをより身近に感じさせるために、さまざまな国際交流に取

り組んでいます。

① 保育園・小中高校での国際理解出前授業

小学校から高校まで訪問し、チリの衣食住やホストタウンの取り組みなどを紹介しました。それぞれの学年のニーズに合わせ、工夫を凝らした紹介で児童から高校生まで大人気となりました。日本では知られていないチリ料理を給食で出したり、チリの音楽を児童生徒たちと歌ったり、さまざまな場面で国際理解を図っています。保育園では外国語指導助手（ALT）と一緒に歌やゲームを通して、楽しく英会話活動にも取り組んでいます。



小学校での異文化理解講座

② 国際交流イベント

学校以外にも町内のさまざまな国際交流イベントに参加し、日本とチリの違いや、スペイン語での歌など、年齢に応じた幅広いテーマでチリを紹介しています。また、自らもインターナショナル写真展などのイベントを企画し、より多くの町民にチリを始めとする海外の国々に興味を持っていただけるよう積極的に活動しています。特にカタリーナさんの講座は大好評で、町外からも講師の依頼が舞い込むことがあります。



多文化共生イベントで講師

③ 広報誌での文化発信

チリの文化や見どころを紹介するために、2020年9月からコーナーを設け、「La Once」を執筆しています。

Hola(こんにちは)！国際交流員のカタリーナです。

今回はチリの「方言」になるスペイン語「チレニスモ」の特徴を紹介します。

①とにかく早口
チリ人はとにかく早口！同じスペイン語を話す人でも、理解できない人が多いそうです。

②独自の言い回しが多い
新しい単語が連続と誕生したり、言葉の意味を変えたりと、チリでしか通じない言葉がたくさん！
例えば、「Pega」は「殴る」という意味ですが、チリだと「仕事」になります。

③語尾に「Po」をつけます
「Po」は会話の内容を強調したい時に使いますが、多くのチリ人は癖でいつも使っています。
Si (はい) +Po = [SiPo] (もちろん！)

チリパラリンピック選手団事前合宿の時、コーチの「方言(チレニスモ)」を通訳するのに苦労しました！



チリの文化とスペイン語を紹介するコーナー「La Once」

おわりに

3年にわたり加美町で活動を行ってきたカタリーナさんですが、この8月でCIRの任務を終えます。そのキャラクターで多くの人々から慕われ、たくさんのことを町に残してくれました。加美町は今後もカタリーナさんの活躍を楽しみにしています。最後にカタリーナさんにこれまでの思い出や今後の抱負を聞きました。

「加美町初のCIRとして貴重な経験がたくさんできました。これまで関わったことがないパラスポーツについて色々学び、選手のたくましい姿から勇気と力をたくさんもらいました。ホストタウン事業以外にも、イベント企画や学校訪問など、幅広く仕事ができ、加美町に来てよかったと思います。加美町での経験を活かし、今後とも頑張ります」。